

8月の果実の見通し

平成30年7月25日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
日本なし 類	千葉 茨城 福岡	7,256	110%	8,289	374	やや 安い	333	5	0.1%	九州産地(佐賀・福岡)は7月20日から順次10kg箱へと切り替わり、7月末よりピークとなるが、小玉傾向。関東産は7月下旬からは千葉産が始まり、7月末には茨城産も数量まとまってくる。遅かった前年と比べて約1週間早く、関東産「幸水」のピークが8月上旬となる見込みから、盆前後にかけては栃木産・福島産の存在感が例年以上に強まる可能性あり。 糖度高く食味は良いが、気温高が続いているので適熟の見極めが難しい年である。
もも類	福島 山梨	6,705	90%	5,676	474	安い	440	469	7.0%	例年は山梨産「川中島白桃」が8月上旬からお盆にかけて出荷ピークになって大玉の販売に入るのだが、本年は生育順調で品種展開が早いために切りあがりも早くなる。 その替わり長野産・山形産の出荷が7月末より始まり、8月2週目からピークに入る。 福島産は生育が前進傾向で出荷が早まっているため主要品種「あかつき」に加えて8月上旬半ばから「まどか」「川中島白桃」の出荷が始まる。お盆後はダラダラとした出荷になる。
すもも	山梨 長野 山形 など	795	90%	810	591	安い	495	116	14.6%	各産地とも生育は順調であったが、7月の気温が高く推移したため、品種によっては出荷が早まったり遅れたりするものがある。特に晩生種に当たる「貴陽」は着色が進まず収穫が遅れている。また「太陽」は7月末より出荷が始まり、6日からピークに入る。 山形・長野は「ソルダム」が8月上旬出荷ピークに。お盆明けは各産地ダラダラとした出荷がしばらく続く。
りんご類	長野 山形 など	2,464	110%	2,542	362	やや 高い	374	314	12.7%	長野産の極早生品種は7月下旬、山梨産も8月月初より出荷開始予定で、30年産新リンゴの販売が始まる。前年比では10日程度開花が早く、現時点では着果量も十分に確保されている。 8月中旬には「つがる」の出荷が始まって下旬にかけて数量もまとまってくる。本年は青森の冷蔵品残量が非常に少なくなっており、例年よりも切り替えはスムーズに進む見込み。

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
ぶどう類	山梨 長野 など	3,299	110%	3,555	1,017	やや 高い	871	847	25.7%	<p>山梨産露地「種無し巨峰」の出荷が早まるものの、気温が高く推移しているため一部で高温障害の発生が見られ、生育が遅れ、干ばつの影響も出てくる可能性がある。</p> <p>山形産「デラウエア」は無加温物の出荷が7月末から8月初旬から始まり、お盆前にはピークに入ってくる。</p> <p>岡山産の出荷は「ピオーネ」が昨年並みの出荷でお盆まであり、併用して「オーロラブラック」の出荷も約2週間続く。</p> <p>長野産の「巨峰」は7月下旬より徐々に増え出し8月上旬にはピークに入ってくる。</p>
メロン類	北海道 静岡 など	2,456	95%	2,344	410	やや 高い	429	573	23.3%	<p>関東産地のメロンは生育前進と気温が高い影響で、当初見込みよりもやや早めの7月中旬でほぼ切りあがりとなり、8月は北海道・青森産中心となる。</p> <p>産地が6月まで天候が不安定だったため生育不良が見られ、北海道産の赤肉メロンは盆前まで少なく、盆後に出荷のピークが来る見込みで、盆前までは引き合いの強い状況が続く。</p> <p>アールスメロンも盆前にかけて引き合い強まり価格も上げ基調だが、盆後には一転して下げの展開に。</p>
大玉 すいか	山形 長野 など	10,146	95%	9,802	166	やや 高い	173	5,802	58.3%	<p>長野産・山形産ともに生育が良く、7月は順調な出荷が続いたが、気温が高いことから引合いは強いままで推移している。</p> <p>山形産は8月お盆に向かって出荷ピーク入るが、その後はダラダラとしたペースに。長野産は8月前半は出荷量あるが、後半には出荷量減少しながら9月に入っていく。北海道産は8月2週目から始まるが、L・M中心と小玉傾向の出荷になる。秋田産の出荷は8月中旬頃までとなるだろう。</p>

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)